日本学術会議 法学委員会「新たな人権の研究」分科会 第1回会合 議事録

日 時：2024（令和6）年2月24日（土）13：00～15：00

会議方式：オンライン（Zoom）

出席者：川嶋、小畑、只野、三成賢次、南野、愛敬、江島、大河内、木村、葛野、國分、
齊藤、建石、中坂、糠塚、林、平田、平山、松本、三成美保、來田（敬称略、名簿順）

欠席者：大久保、相澤、笹倉（敬称略、名簿順）

議事録作成者：林

はじめに、三成賢次委員（世話人）により、分科会の設置趣旨が説明された後、本分科会所属の委員である各会員・連携会員が名簿順に自己紹介（所属、研究分野・研究内容、分科会に期待すること等）を行った。

（1）役員を選出について

委員の互選により委員長に只野委員が選出され、続いて只野委員長から副委員長に小畑委員と葛野委員が、幹事に林委員がそれぞれ指名され、分科会として承認された。

（2）26期の活動計画について

只野委員長より、本分科会として今期、3年のうちに提言等を取りまとめることを目標とすること、1年間に3回程度の分科会を開催し審議を行い、活動状況に応じて学術会議外からも報告者等を招きシンポジウムを行う旨の活動計画が示された。併せて、分科会で議論が進み方向性が定まってきた段階で、専門別あるいはテーマ別に小分科会を立ち上げ（グループ化）、議論の幅を広げつつ深化させていく予定であることが提案された。

次回の分科会は、本年5月または6月に（報告者2名、2時間程度）開催する予定であること、報告者はメーリングリストで募りつつ、本分科会役員が中心となって探すこととなった。

（3）その他

その他の事項として、只野委員長より、次の3点の議題が提示され、審議された。

1) 特任連携会員の推薦について

本分科会の設置の趣旨に鑑み、またこの間の学術会議の動向を踏まえ、小澤隆一氏（東京慈恵会医科大学教授）を特別連携会員として本分科会から推薦することが承認された。

2) メールアドレスの共有とメーリングリストの活用について

分科会の活動の活性化のために、委員のメールアドレスを共有し、メーリングリストを

活用すること、その管理は委員長が行うことが了承された。メールアドレス等に変更がある場合は委員長に適宜届けることとした。

3) この間の学術会議の動向について

昨年11月から学術会議の在り方に関し、法人化をめぐる議論が活発になり、昨年12月には政府の有識者懇談会が法人化の方向性を明示した中間報告を発表し、それを踏まえて立法化が検討されている状況について、委員長などから説明があり、意見交換を行った。

4) その他

- ・来年度予算については、現段階でまだ確定していないが、厳しい状況にあるので、それを前提に活動計画を検討する必要があることが確認された。
- ・提言等を発出する場合には、所定の査読手続があるので、それを踏まえ原案を策定していく必要があることが確認された。
- ・本分科会の委員が関わるシンポジウム等の情報共有をメーリングリスで行うことが了承された。
- ・今後の各学協会との緊密な連携について意見交換を行った。